

〔国際会議開催〕

申請者	東京工業大学 教授 中島 求	2195008
国際会議名称	第 13 回 スポーツ工学国際会議	
開催期間	2020 年 6 月 23 日～6 月 27 日	
開催場所	オンライン http://www.isea2020.org/	
申請者の役割	実行委員長	

概 要：

来年予定されている東京オリンピック・パラリンピック開催にも伴い、近年、スポーツに対する社会的関心が急激に増大している。オリ・パラなどのトップアスリートの競技においては、アスリートをどのようにサポートできるかが科学技術に課せられた課題である。また一方で、超高齢化社会を迎える我が国において、国民の健康維持は喫緊の課題であり、健康増進のためにスポーツが果たす役割もますます大きくなっている。本国際会議は、エレクトロニクス、情報工学、機械工学などの工学の観点に基づいたスポーツに関する新しい学問分野である「スポーツ工学」についての世界最大規模の会議である。そもそもスポーツは、人間と用具・環境（広く機械と捉えられる）との調和が実現した際に初めて高いパフォーマンスや健康維持効果が得られるものであり、本国際会議の開催は、人間と機械の調和の促進に非常に沿ったものと考えられる。本国際会議は 2020 年 2 月頃までは東京都目黒区の東京工業大学にて開催する予定で進められていたが、世界的な新型コロナウイルス感染拡大により、急遽、オンライン開催に形式が変更された。スポーツ工学国際連合からの資金援助も受け、参加登録費を無料とし、世界中から参加可能な日本時間の朝 5 時から 8 時の時間帯を用いて開催された。当初予定された 5 つの招待講演もすべてオンラインで実施された。その結果、本会議シリーズでの通常の参加者（毎回 200 名程度）の実に 10 倍近い、56 カ国からの 1845 名の参加登録者を記録し、大変な盛況となった。セッションも 5 室平行でオンラインながらほぼ問題なく行われ、123 件の発表が行われた、また 166 編の講演論文集もオンライン出版された。